

令和元年度第1回文化芸術に関する意見交換会 会議概要

1 日時 令和元年5月30日(木) 10時30分～11時50分

2 会場 岩槻人形博物館 会議室

3 出席者

<委員> (50音順 敬称略)

井藤 仁/石上 城行/大沢 英子/久米 尚子/近藤 一幸/茅野 憲一

長井 武志/中澤 政人/宮内 則幸/森口 達治

<事務局>

大西スポーツ文化局理事兼文化部長/川田岩槻人形博物館開設準備室長

野口参事兼文化振興課長/小野瀬係長/飯島主任/田島主事/吉田主事

4 欠席者 (敬称略)

あらい 太朗/五十嵐 健一/佐復 恵治/山田 登美男

5 テーマ

(1) 岩槻人形博物館に関する意見交換について

(2) 市の文化芸術振興に向けた総括的な意見交換について

公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の数 0人

7 会議

(1) 開会

(2) スポーツ文化局理事挨拶

(3) 事務局紹介

(4) 内容

委員長	次第4 内容(1) 岩槻人形博物館に関する意見交換について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<事務局より説明> ・資料「岩槻人形博物館整備の進捗状況について」に基づき説明
委員長	岩槻人形博物館内を見た内容や、事務局からの説明に対する質問、意見等はあるか。リピーターの確保のためのアイデア等についても、挙げてほしい。
委員	和風で新しく、綺麗な印象を受けた。のびのびした感じの印象を与える素晴らしい博物館である。展示室については、何も

事務局	<p>ない状態だったので、感想を述べるのは難しいが、展示物が入ればイメージは変わると思われる。</p> <p>個人的には、修復室が気になった。事前の情報を何も仕入れずに、修復室を見た感想として、修理する対象物の大きさにもよるが、部屋が狭いと感じた。博物館の目的には、展示に重点を置いて見てもらうこと、学問的に研究すること等があり、目的をひとつに限定することは難しい。この岩槻人形博物館は、研究も含めた展示を目的に、関係者が苦労してたどり着いた形として、完成したのだと思う。修復室には、何人入る予定なのか。</p> <p>1人か、2人になる。</p>
委員	<p>修復室のダクトも気になった。迫力あるダクトだったが、先端に可動できるアームダクト装置を取り付けて、作業者が手元で操作し、局所的に溶剤等を吸い込めるような工夫が必要である。また、四方八方壁面で、窓がない部屋は静かでもいいのだが、1日中いると気が滅入ってしまう。天窗でもあれば良かったのではないかと思っている。修復室だけではなく、他の部屋についても、これから手を加えて、改良してほしいと思う。</p>
事務局	<p>公立としては初めての人形博物館であるため、オープン後に皆様からの意見を頂戴して、手直しできるところを修正し、より良いものにしていきたい。</p>
委員	<p>現状では、岩槻人形博物館の感想を言うのは難しいと感じている。ただ、地元にこのような施設ができることは嬉しい。人形業界の人間として、長年の夢がかなったという思いもあり、ここを拠点として、人形文化を世界へ発信してほしい。</p> <p>現在、資料等はプラザノースに保管されていると聞いているが、それらの資料の収納も含めて、準備は万全なのか。</p>
事務局	<p>当初は、足りない部分もあると感じていた。特に、創作人形の分野が弱かったが、浅原革世氏の資料を加えることができたため、かなり充実してきたと考えている。現状で弱い点として挙げるとすれば、五月（端午の節句）の資料が足りていない。収集に係る評価委員会を設置しているので、年2回の会議等を通</p>

	<p>して、収集に努めていく必要がある。</p> <p>資料の収納について、現在の搬入計画では収蔵庫と棚への収納で、ほぼ一杯になってしまう。そのため、収集についても、しっかり取捨選択をしながら進めていかなければならない。今後、寄贈を受けられない事態も出てくるかもしれない。ただ、屏風等の装飾品は、今後も積極的に収集し、充実させたいと考えている。</p>
委員	岩槻人形博物館には、燻蒸設備がないのか。
事務局	設けていない。
委員	作業時には、業者に依頼するという事か。
事務局	そうなる。
委員長	博物館の目的としては、展示公開、調査研究、教育普及の3点があり、展示公開と調査研究については充実していると感じているが、教育普及という点で考えると、まだ弱い部分があると感じる。大宮盆栽美術館や地方の博物館等でも、多言語対応ができていていると思うが、今後の方向性も含めてどのように準備を進めていくのか。
事務局	<p>当初は、岩槻人形博物館にて展示機能を、岩槻城址公園の方に、教育普及機能を持たせた施設を作り、機能分担を行う予定であった。しかし、他の計画との兼ね合いもあり、岩槻城址公園内の施設については、庁内で検討中である。そのため、教育普及については、弱い部分が現状はあるかもしれないが、隣接するにぎわい交流館において製作体験等のワークショップを開催するなど、補っていくことを考えている。</p> <p>多言語対応について、大宮盆栽美術館の開館後に外国人対応を検討した際、まずは館内の英語表記を正確にできるようにとの考えがまとまり、岩槻人形博物館でも、それを踏襲している。また、パンフレットの表記については、東南アジアからの来館者が多いと想定されているので、対応を検討している。</p>

委員	敷地内に、コンパクトに収まっていて素晴らしい施設だと思った。公募で委員に就任した経緯もあり、納税者としての市民の立場からすれば、博物館への入館料を支払うことを考えると、もっと広報活動を頑張ってもらいたい。日本語と英語での広報だけでなく多言語対応にして、対象を埼玉県や関東地方だけでなくもっと広く周知してほしい。多くの人に来てもらって、良かったと思われる施設にしてほしいと感じた。
事務局	積極的に広報していきたい。
委員長	以上で、人形博物館に関する意見交換については終了とする。続いて、次第4 内容(2)市の文化芸術振興に向けた総括的な意見交換について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<p><事務局より説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料(さいたま市の人形コレクションパンフレット、さいたま国際盆栽アカデミーパンフレット、漫画会館案内パンフレットなど)に基づき説明
委員長	説明が終わった。事務局からの説明に対する質問や、市の文化芸術振興について意見等はあるか。
委員	<p>個人的には、さいたま市は全体的に狭いというか、遊びがないと感じている。見沼田圃周辺を歩く機会があるが、疲れた時に休憩するスペースがない。</p> <p>1か月程前に漫画会館に行った際、施設自体は面白いが、やはり狭いと感じた。子どもが、ひとりでおとなしく漫画を読んでいるのを見かけたが、もっと積極的にワークショップを行うなどして、友達も連れてきてくれれば、多くの子どもを巻き込めるのではないかと以前から考えている。</p> <p>リニューアル後の鉄道博物館に行った際には、以前よりも子どもの来場者が増えているような気がして、笑い声が所々から聞こえた。もっと子どもを参加、体験させる機会を設けてほしい。</p> <p>先程、人形の修復の話があったが、子どもは指が小さいため、大人よりうまくできる部分もあるのではないかと考えている。さいたま市は、つまらないと思うこともあるが、出掛けて</p>

委員	<p>みると面白いところを発見できる。自然も豊かなので、もっと有効活用して次世代の育成につなげてほしい。</p> <p>さいたま市には、点の施策が多い気がする。今年、初めて岩槻城址公園の桜まつりへ行ったが、会場へのバスが無くて、街の賑わいを感じられず、岩槻城址公園周辺のみが賑わっていた。全体的に街の作りが一点集中で、周りを巻き込めていない。大宮盆栽美術館には、地域に盆栽文化の雰囲気があり、漫画会館は、北沢楽天の邸宅跡地に建っている関係で仕方がない部分もあるが、地域に漫画文化の雰囲気を感じられない。岩槻の人形を周知するための拠点として、岩槻人形博物館を開館するのだから、街全体の雰囲気を作る必要がある。岩槻城址公園桜まつり等の各種事業と連携を行い、点と点をつなげて線を伸ばして、面にしてほしい。</p>
委員長	<p>新しいものが多いので、一つひとつはしっかりしていても、お互いの連携は感じられない。</p>
委員	<p>大英博物館にて、漫画の展示（日本漫画の歴史を紹介する中で、北沢楽天の作品も触れられている）をしていることから見ても、世の中が変わってきていて、日本のみならず世界的にも漫画文化が定着し、芸術として見られるようになってきている。人形についても日本独特の文化があるのだから、博物館を作るだけでなく、作品展示をしながら、何かを残していかなければならない。税金を投入しているのだから、研究していくことも重要だが、文化を維持していくためには、人に来てもらうことを考えていかなければならない。収蔵品を伝えていくこと、残していくことが重要であるが、フィギュアも含めた人形文化として、柔軟な発想で考えていかないと、数年後には入館者が減ってってしまうのではないかと。入館者数は、あくまで一つのバロメーターであって、数にこだわる必要はなく、重要なのは内容であるが、専門的な部分のみにこだわってはいけな。漫画会館や大宮盆栽美術館等との連携を含めたトータルバランスを考えられる人材に加わってもらう必要がある。人形に係る知識を持った人は外せないが、そこから派生していく別々の視点を持った人も巻き込んでいき、柔軟な発想で、飽きられないような仕組み</p>

委員	<p>の発案ができる会合を立ち上げていくことが必要なのではないか。</p> <p>文化は、マイナーな表現で日陰に入りやすく、目に見えて結果が出るようなスポーツには、陽が当たっているように感じられる。現状を守ることに固執しているように見えるので、これからが大変な難題を抱えながらのスタートになるのではないか。人形文化が、次世代でどのように発展していくのかを考えていけば、非常に明るく楽しい時代が来るのではないかと期待している。このような素晴らしい施設に展示されれば、人形も喜ぶと思う。</p>
委員	<p>このような立派な施設ができれば、当初は注目されることから、何も心配の必要はないが、その後が大事になるため、時期ごとに目玉となる催しを考案し、恒常的に周知する必要がある。また、岩槻人形博物館のみの周知ではなく、スタンプラリーのように、色々な施設を回れる仕組み作りが必要である。特に、周辺施設との連携において、食に関するもの、ショッピング等と合わせてエンターテイメント性を生み出せるような広報を行ってほしい。せっかく立派な施設ができたので、館内で落語のイベントを開催したり、盆栽と組み合わせて展示したり、人形のみではなく、全体の連動性が感じられるように展開していくことが、今後のテーマとなる。</p>
委員	<p>旅行会社の立場から考えると、にぎわい交流館を含めて所要時間約60分と考えると、どれだけ魅力があるかという視点で、ツアーに組みづらいという感想である。日帰りバスツアーでもハードルが高く、食べ放題等の企画とセットにしないと厳しいと考えている。</p> <p>意見交換会の委員となってから感じていることだが、さいたま市内の各美術館、各博物館について、誰のための施設を作ろうとしているのか感じられないものが多い。来てくれる人にとってどうなのかを感じ取った方がよいと思われる。</p> <p>オープンして1年後に、どう取り組むかが大事で、1年前にオープンしましたと周知しても、全く響かない。都内からでも、1時間程度で来られる位置にあるのだから、他の施設と比べら</p>

事務局	<p>れているという意識をもって、プレス発表にも力を入れてほしい。</p> <p>にぎわいを創出する部署や、景観形成、各イベントを所管する部署が集まり、どのように街づくりを一体的に進めていくかについて、本市の都市戦略本部未来都市推進部を中心に、東武鉄道株式会社とも連携して、検討を行っている。文化がないと街はできないので、市全体として、都市計画や経済政策等の総合的な視点から、各部署と連携して街づくりを進めていく。</p> <p>メディア対応については、何百社という単位で、通知を行っていく。</p>
委員	<p>旅行商品は、半年前には企画が始まっている。来年の上期商品の企画は始まっているが、下期商品には間に合うので、もっと周知してほしい。また、オープン時にはメディアを呼ぶべきである。</p>
委員	<p>岩槻人形博物館が完成したら、世界人形サミットをやりたいと考えていた。アクセスも悪くないことから、ぜひ実現させてほしい。</p>
委員長	<p>時間の都合により、ここまでで意見交換会を終了とする。</p>

(5) その他

事務局より事務連絡

8 閉会

さいたま市スポーツ文化局文化部文化振興課

電話 8 2 9 - 1 2 2 6

F a x 8 2 9 - 1 9 9 6